



▲「春や春 おんなWEEKで楽しまナイト！」で華やかな衣装に包まれ優雅な踊りを披露する出演者ら

目次

- 村の彩・風・香を体感 おんなWEEKで楽しまナイト！
- 三星ライオンズ 春季キャンプ&野球教室
- 浮いたぞ！ペットボトルいかだ
- 水難事故防止標語・ポスターで優秀賞に
- 夢キラリ☆ファッション業界で活躍～吉田兼一さん

村のひと

総人口	10,367人 (-12)
男	5,250人 (-2)
女	5,117人 (-10)
世帯数	4,278戸 (+1)

*平成22年1月末

#19 夢キラリ

村民の数だけ夢がある。今回は東京でファッションブランドの広報宣伝を担当している吉田兼一さんの登場です。



東京でファッションブランド「Roen(ロエン)」を国内及びイタリアで展開している株式会社ロエンの広報宣伝部長として活躍している、塩屋区出身の吉田兼一さんをご紹介します。

「Roen」は東京のファッション業界では、新鋭ブランドとして成長しています。そのRoenをより多くの人に知ってもらおうよう活動しているのが吉田さん。また、吉田さんは吉田狼鐘音(ヨシダロベルト)という名前でファッション業界に存在しています。時折、ファッション誌やTVなどに登場します。

目標目指して上京

小さい頃から父親の影響でF1ドライバーが夢だった吉田さん、中学生の頃からレイディスファッション誌を読みだしファッションに興味を持ったそうです。

ぜひともファッション業界で働きたいと考えた吉田さんは名桜大学を卒業後、ファッションと経営能力が勉強できる杉野学園ドレスメーカー学院ファッションビジネス科に入学し、ファッションについて勉強しました。

その後、デザイナーの高原啓さんが独立する噂を聞きつけ、どうしてもシューズデザイナーの頂点だった高原さんと仕事をしたくて、高原さんの事務所を探し当て、履歴書を持って4時間も待ったそうです。その甲斐があって、今一緒にRoenを手がけています。

安室奈美恵の衣装もファッションの聖地イタリア

「ファッションの聖地イタリア」



Roenのランウェイショー

ア・ミラノでのファッションショーや、東京でのランウェイショー、そして、安室奈美恵をはじめ、EXILE、SMAP、GLAYなどのアーティストから、佐藤健、速水もこみち、オダギリジョー、市原隼人など俳優の衣装までと、Roenでの活躍の場は幅広い。吉田さんも実際に東京コレクションやミラノコレクションに関わり、活躍しています。

これからの目標について尋ねたところ「まず東京でショーを行い、注目される人物になります。そして、『ファッション』+『琉球文化』を発信し、沖縄にとって新しい風になりたい」と話しました。その第一歩として、ファッションブログ「RYUKYUMOTERS」を3月1日に立上げ、自分なりに『ファッション』+『琉球文化』を発表して



化』を発表して行きたいと話してくれました。好きな事を精一杯 最後に、吉田さんから小中学生の皆さんへのメッセージをいただきました。

「私は小さな頃から『夢追い人』でした。周りのみんなが理解できないくらい夢がたくさんありました。しかし、『強い信念』と『志』と『行動力』で夢が現実になりました。『できない』や『無理』という事を考える前に『まずできる事から一歩考えましよう』。そして、夢から現実の『目標』、そして『目的』に変わると思っています。」

「好きな事を精一杯やりましょう！」吉田さんが「好きな事」を「精一杯」やって夢を実現したように、私たちも夢をあきらめずに前向きに行きたいものです。そして、吉田さんの活躍で、沖縄を、そして恩納村をもっと世界に紹介して、PRしていただきたいです。

「夢☆キラリ」では皆様のご意見・ご感想、取り上げてほしい人物についてのお便りをお待ちしております。
総務課 FAX：966-2779 または E-mail：soumu@vill.onna.okinawa.jp まで



▲ソン監督らへの花束贈呈



▲ハンファイーグルスへの記念品贈呈

今年は三星ライオンズを始め、同じく韓国プロ野球球団のハンファイーグルス、SKワイバーンズ、そして日本プロ野球球団の阪神タイガースと中日ドラゴンズの5球団がキャンプ期間中に村内の宿泊施設に滞在しました。

花束贈呈後、県スポーツコンベンション振興協議会やオリオンビール、リザンシーパークホテル谷茶ベイ、村からタンカンや飲み物などを選手らに贈りました。

三星ライオンズを始め、同じく韓国プロ野球球団のハンファイーグルス、SKワイバーンズ、そして日本プロ野球球団の阪神タイガースと中日ドラゴンズの5球団がキャンプ期間中に村内の宿泊施設に滞在しました。

セレモニーで志喜屋村長は「今年も優勝を目指していただきたい。秋には優勝旅行も兼ねて、再度恩納村に来ていただきたい」と激励し、ソン・ドンヨル監督は「整った施設でしっかりと練習して、優勝を目指したい。秋にはぜひとも優勝旅行で訪れます」とあいさつし、万雷の拍手と激励の声が会場いっぱいに響きました。

2005年から本村で春季キャンプを行っている韓国プロ野球球団、三星ライオンズが6年目のキャンプを行いました。2月4日に関係者が集まり、歓迎セレモニーを行いました。

秋の優勝旅行での再来村を誓う

舞台で彩・風・香を感じて

来村者に、より恩納村を楽しんでもらい、再度沖縄に、本村に訪れていただき、観光産業の振興につなげようと、村とNPOふれあいネットONNA主催で「春や春 おんなWEEKで楽しまナイト！～琉球芸能彩・風・香～」が村コミュニティセンターで2月6日から3月13日にかけて行われています。

このイベントは昨年6月、恩納村むら興し協議会で企画し、約半年の準備期間を経てお披露目となりました。総括を担当したNPOふれあいネットONNAの名城一幸さんは「すべての面で調整するのが大変だった。でも無事公演を迎えられてよかった」と話しました。

初回開演前、志喜屋村長は「今回のようなイベントは初めてで、沖縄の、恩納村の伝統芸能を堪能し、恩納村の週末を楽しんでいただきたくて企画しました。地元の獅子舞や空手、エイサーもあるので、ぜひ恩納村を心に焼き付けていただき、来年もお越し下さい」と歓迎のあいさつをしました。

ステージは、四つ竹や上り口説など、古典舞踊で琉球王朝時代にタイムスリップする「彩」と、明治以降に庶民の芸能として

できた雑踊りを中心に、村内のエイサーや獅子舞、空手などで島の営みを表現する「風」、そして温かい春を感じさせる創作舞踊「香」の三部構成です。

出演は沖縄芸術大学琉球芸能専攻OB会をはじめ、佐久本嗣男空手道場と村青年団協議会のメンバー、総勢50名あまり。出演者は客席にせり出した3面のステージを所狭しと、観客の間近で舞踊などを賑やかに披露しました。

東京から三世代7名でいらした引地さん、近藤さんファミリーは「10回以上沖縄に来ている。今晚のステージは今回の一番の思い出になった。とても感激している。孫にも沖縄の伝統芸能を見せたかったので、いい機会だった。衣装もきれいだし、指笛もすごかった」と話し、運動会でエイサーを踊ったことがある小学生の孫も「エイサーがカッコよかった、また来るからね」と笑顔で話しました。名古屋からいらした村上さん夫婦は「沖縄らしいイベントでとてもよかった。近くで見られて素晴らしいかった。古典舞踊でもう少し説明があったらよかった」と話しました。



* 村長交際費支出内訳 1月 *	
衆議院沖特委員と意見交換会	10,000円
沖縄・感謝の夕べ 参加費	15,000円
恩納分屯基地新春の集い	5,000円
北部市町村会新年会	2,000円
県町村会年始会	5,000円
うるま市青年会議所懇親会	3,000円
沖縄・感謝の夕べ 関係者懇親会費	10,000円
今月合計	50,000円

* 村長の主な動き 1月 *	4日	5日	6日	7日	8日	12日	13日	14日	15日	16日	19日	20日	21日	25日	26日	28日	29日	31日
仕事始め、村成人式 新年祝賀会 金武地区消防出初式 沖縄防衛局年始挨拶、観 葉生産部会初荷式 JA沖縄北部地区新春の 集い 北部市町村会新年会・講 演会 衆議院沖特委員と意見交 換会 県市町村長研修会・年始会 塩屋村営住宅安全祈願祭 美ら島センチュリーラン うるま市青年会議所懇親会 読谷産業奨学金寄付金贈呈 土地改良連合会中間監査、 石垣出張 臨時議会 沖縄・感謝の夕べ(上巻) ゆうなの会・三春合同新年会 県警察学校卒業式、恩納 分屯基地新春の集い 琉球芸能・彩・風・香																		

交通災害共済に家族そろって加入しましょう

●「交通災害共済」とは

加入者が交通事故にあったとき、見舞金（1万円～100万円）を支給する制度です。加入者が自動車、バス、バイク、船舶などに同乗していた場合も該当しますので、万一の事故に備えてご家族そろっての加入をおすすめします。

●加入金額

赤ちゃんからお年寄りまで誰でも1人500円です。

●手続きの方法

申込書は、掛け金を添えて役場総務課へ提出してください。ただし、**申込期間中（2/1～3/31まで）**は各字公民館でも受け付けます。**詳しくは、恩納村役場 総務課（966－1200）**までお問い合わせください。

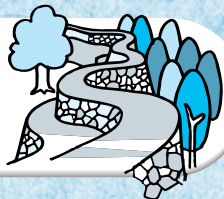
美ら島オキナワCentury Run 2010開催される

スポーツコンベンションアイランド「OKINAWA」の新たな核となるイベントとして定着させることを目的にした「第1回 美ら島オキナワCentury Run 2010」が1月17日に行われました。

村コミュニティセンターをスタート、ゴール地点とし、本大会最長160kmのセンチュリーコースは、北は古宇利島から南は浜比嘉島まで、山間部や海岸線を駆け抜けるアップダウンのあるコースでした。また、紅型やシーサーの絵付け体験ができる30kmのファミリーコースや100kmの桜ロードコースなど、4コースに総勢1,300名が参加し、沖縄の自然を満喫しました。（商工観光）



恩納村誌編さん室だより



間切時代の 恩納 — 名嘉真 —

今回は恩納間切名嘉真村の地図を紹介します。
名嘉真は『絵図郷村帳』（一六四九年）には金武間切のうちに「中間村」とあり、『琉球国高究帳』一六三五（一六四八年）にも金武間切に「中間村」とあります。

『琉球国由来記』には恩納間切に名嘉真村とみえます。この地図はみますと、小字はヤーシ原、下袋原、伊武部原、竿底原、川田原、浜原、村内原、前袋原、新田原、金武上原、アンタカ原、名嘉真山があります。

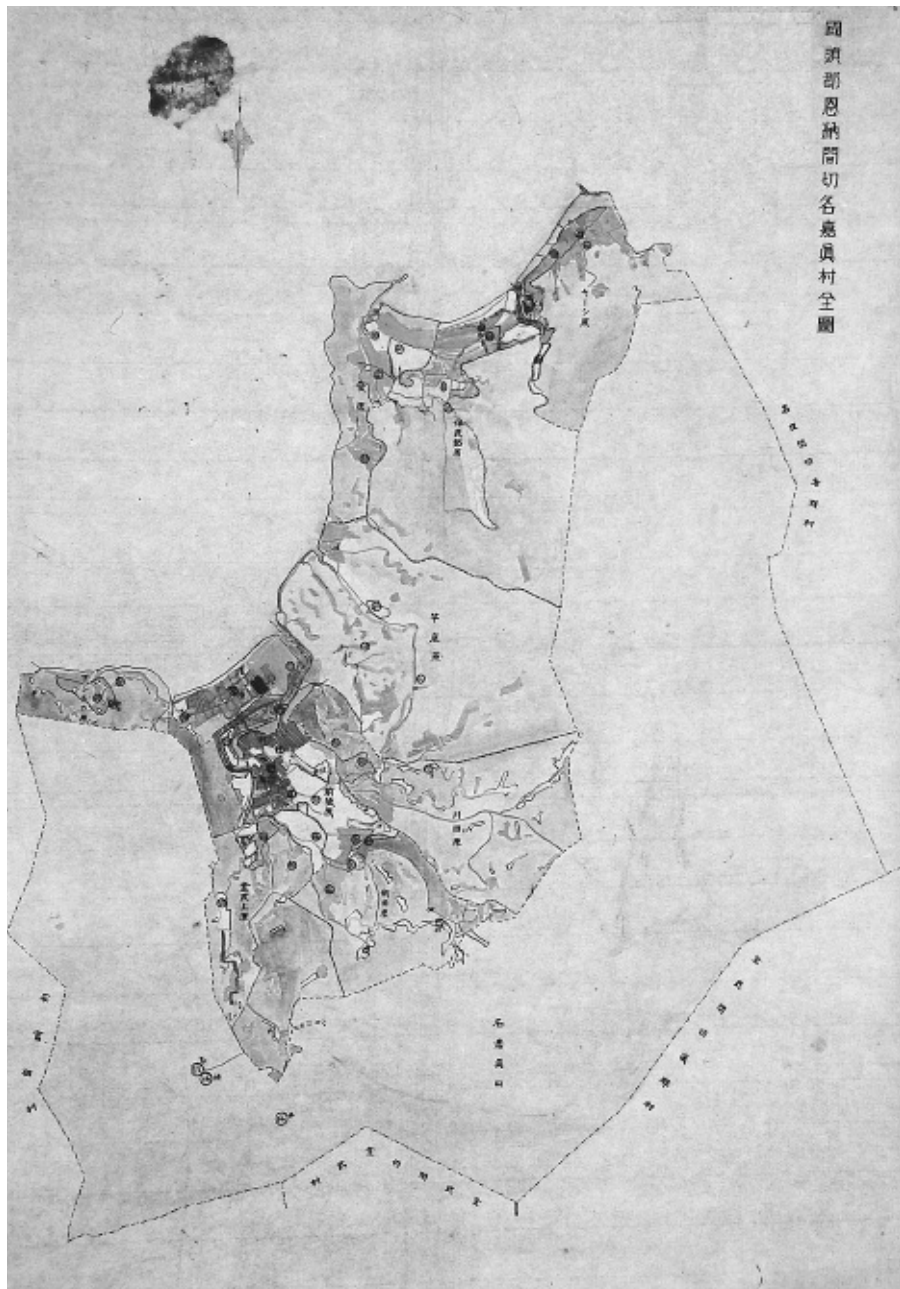
名嘉真村は名嘉真集落と、屋取集落の伊武部集落とで成り立っています。
名嘉真集落は大島、新島浜の三区域に分かれています。集落はもと大島にありましたが、新島へ移り、また海側の交

通が便利のため、分家だけでなく本家も浜に移り住むようになり、現在は浜に住宅が集まっています。しかし、拝所の多くは大島にあるため、祭祀の時には大島へ行って拝みます。

『琉球国由来記』には名嘉真村の御嶽としてトマリガシラ嶽（神名 アフスシヅカサ）、カワイフ嶽（神名 アフテツカサ）、マナツジ嶽（神名 マカサノイベツカサ）があり、「名嘉真巫ニテ祭祀也」とあります。他に拝所として神アシアゲ、名嘉真巫火神が記されており、同じく名嘉真ノロが祭祀を行っていました。

『恩納村誌』によると、三つの御嶽は現在マナツジ御嶽に合祀されており、カワイフ御嶽は現在は元の場所にはありません。トマリガシラ御嶽は現在の状況を見に行きましたが、探すことが出来ませんでした。

また、名嘉真にはアサギの側に地頭火神があります



伊 武 部

伊武部はヤーシ川を境として恩納村と名護市の境界に位置しています。

『恩納村誌』によると、最初に伊武部にすむようになったのは儀間家で、一八七〇年頃に那覇市泊から移住してきたそうです。つぎに嘉手納（加納）姓の人々が移り住んだそうです。嘉手納姓の人々は本家は代々名嘉真地頭を勤めたそうです。そのため伊武部へ住みはじめたそうです。その後那覇、首里、新里（現南城市）、金武などの各地から移住してきて集落が形成されたそうです。

その名嘉真村の人々

「砂糖消費税法改正之儀ニ付請願」（明治三十六年）の資料から名嘉真の部分を抜き出しました。旧番地の一番から九十七番地までの三十六名の方々が署名され

が、『琉球藩雜記』（一八七三年）という資料に名嘉真筑登之という名前が見られます。領地は「恩納間切名嘉真村作得二石余」と書かれています。『恩納村誌』によりまずと、名嘉真地頭地は伊武部に存在していたそうです。

ペリー一行が沖縄へ来た際、名嘉真へも来ていることが紀行文に書かれており、当時の名嘉真の様子が伺えます。少し引用してみます。「家々は、花の咲いている、生い茂ったバナナの木で取り囲まれ、家と家との間の小路には、つやつやし

たイノカルプス（福木）の垣があり、その木の高さ二十尺も樹葉の壁をつくっていた。その外側には裂いた竹を編んで出来た手際よい垣が立ててあった。この部落の近くに、木材を組み立てた骨組の上に、草葺屋根の三つの建物が建てられて

あった。これは穀物を土の湿気から、こういう風に守るために、地上高くした倉庫のように見えた。（略）我々は午后二時半頃、ニコマ（その部落はそういうように呼ばれていたが）を出発した。」「ペリー提督沖縄訪問記」外間政章訳注）

旧番地	平民・士族	職業	名前	生年月日	西暦
1	平民	農	仲村 渠 平 次	嘉永6年2月5日	1853
13	士族	農	新 崎 康 成	嘉永4年3月3日	1851
15	平民	農	宜野座 常 七	明治3年11月17日	1870
16	平民	農	仲 嶺 康 高	慶應元年11月16日	1865
19	平民	農	仲村 渠 好 長	天保3年11月5日	1832
20	平民	農	仲 間 光 藏	嘉永元年11月19日	1848
22	平民	農	島 袋 知 一	天保9年3月16日	1838
24	平民	農	仲村 渠 好 彝	天保12年3月10日	1841
25	平民		宮 城 廣 吉	慶應3年7月8日	1867
28	平民	農	宮 城 政 一	明治15年8月4日	1882
31	平民		宮 城 廣 助	安政6年1月13日	1859
35	平民		仲 田 豊 吉	慶應3年9月10日	1867
38	平民		宮 城 寛 一	文久2年3月20日	1862
39	平民	農	仲 田 豊 一	元治元年11月20日	1864
40	士族	農	奥 間 政 治	明治3年1月1日	1870
41	平民	農	宮 城 寛 太	安政9年7月10日	1862 (*)
42	平民	農	漢 那 定 助	嘉永3年1月29日	1850
44	平民	農	宮 城 辰 馬	文久3年1月3日	1863
45	平民	農	宮 城 利 三	天保12年6月5日	1841
46	平民	農	宮 城 好 次	元治元年3月18日	1864
49	平民	農	宮 城 利 吉	明治2年10月29日	1869
50	平民	農	大 城 弥 八	嘉永4年10月5日	1851
53	平民		仲宗根 順 一	慶應2年3月1日	1866
56	士族	農	親 泊 康 敦	弘化2年8月10日	1845
58	平民	農	漢 那 三 郎	明治4年4月19日	1871
59	平民	農	漢 那 雄 一	明治9年9月12日	1876
64	平民	農	金 城 盛 吉	万延元年5月10日	1860
67	平民		金 城 岩 太	天保3年10月7日	1832
70	平民		宜野座 民 吉	明治4年7月29日	1871
73	平民	農	漢 那 太 郎	天保14年11月6日	1843
76	平民	農	伊 藝 儀 平	弘化4年4月20日	1847
85	平民	農	金 城 盛 由	慶應元年4月20日	1865
91	平民	農	漢 那 貞 助	安政6年12月12日	1859
92	平民	農	照 屋 春 吉	安政5年2月6日	1858
93	平民	農	漢 那 清 吉	元治元年11月20日	1864
97	平民	農	仲 嶺 康 種	安政元年3月20日	1854

(*) 安政は6年までですが、生年月日欄はそのまま記載しています。西暦は推定される年にしました。

ています。そのうち土族の方が三名署名しています。おそらく屋取の方々だと考えられます。明治三十六年の『沖縄県統計書』によりますと、名嘉真村の人口は五三六人、そのうち平民四六〇人、土族七六人です。

現在の名嘉真と古島の屋号地図

左の地図は、現在の名嘉真の地図に『恩納村誌』にある古島の地図を重ねて、拝所などを落とししたものです。地図でも分かるとおり、

現在の住宅は国道の方へ移っています。今後、現在の居住地域で屋号がどのように使われているのかを調べて、より充実した地図を作成したいと思っています。名嘉真の盆行事について、一九六七年の『沖縄民俗同好会報』八号に書かれていますので一部を紹介します。〔十五日ウークイの日〕餅やだんごをつくる。ミキは十四日に準備しておく。それをこの日お供えする。他家へ線香、ウチカビを持って行くのは十五日で、

生家や門中のムートゥヤーにかぎられていた。三度の食事を供え、屋には餅も供える。ごちそうは六寸重箱に入れ、その準備ができるとウチカビ（紙銭）を焼く。ウークイのときは、村ハジシ（村はずれ）まで、小さな皿にごちそうの初を分けて持ち、香炉も持って行って、もう一度紙銭を焚く。香炉の灰は地面に捨て、その灰に線香を立てる。」何度か名嘉真へはお邪魔させて頂いてますが、とてもムラの行事を大事にしている地域だと感じました。他の年中行事についてはまたの機会にご紹介したいと思います。（幸喜）

現在の名嘉真と古島の屋号地図



今年度の最後の号となりました。現在事務局では恩納村の戦争に関する資料の整理を行っています。それと同時に現在の恩納村も記録しておかなくては！と写真を撮りに歩いたりしています。来年度もご協力よろしくお願致します！！

恩納村の文化財 ⑩

恩納村字名嘉真は、伊武部集落と名嘉真集落からなっています。今回は名嘉真の文化財の一部分をご紹介します。

伊武部貝塚

字名嘉真ヤーシー原の海岸沿いから集落にかけて約三〇〇年〜二〇〇〇年前の貝塚があります。一九八〇年に沖縄県教育委員会により発掘調査が実施され、土器や石器、貝製品、食べた貝や獣骨などが出土しています。また、石でできた炉跡などが確認されています。地域で作られた土器や鹿児島県奄美地方でも確認されている土器等が出土しています。沖縄・奄美をめぐる土器文化の解明に重要な遺跡です。

名嘉真古島遺跡

名嘉真の旧部落跡でフキの屋敷囲いや屋敷内の井

仲間節

戸など当時の部落の様子をうかがう事ができます。現在も神アサギや地頭火之神などがあり、周辺では中国産青磁、沖縄産陶器など生活で使用されていた焼物や道具が確認されています。表採されている焼物から近世が主で、中世以前の道具も若干確認されています。名嘉真集落の歴史を知る上で重要な遺跡となっております。



現在の名嘉真は、間切時代には金武間切になっていました。仲間節は、金武間切時代の間切（名嘉真）節

名嘉真からけてヨリーヨ塩屋（すや）・真栄田（めーだ）までん「サーハイスリヨ」佐渡山の親方「ヨリーヨ」御かけ親島、うえじま「サーハイスリヨ、サーサイサー」

地頭代するターリーがヨ、デーヨー乗いみせる馬（うんま）、サーハイスリヨ、ササユイサ瓜や綾、綾爪ぬヨ、真黒ヨヨかんじ。サーハイスリヨ

【恩納村誌】より

名で歌は、恩納村誌にも記載があります。「仲間から久志辺野古にかけて金武の御前がなしのご

名嘉真の組踊台本「写本」

（恩納村の歴史文化「より」）

恩納村には、現在六字で六種類の組踊りが演じられ

領地で、まことに広大なものだ」という歌意です。金武の御前がなしは、尚元王の第三王子尚久（一五六〇〜一六二〇年）のことで、金武間切を領有していたので、大金武王子と呼ばれていました。寛文八（一六六八）年の布令発布によって、金武間切仲間村から仲間村に変わり、さらに恩納間切が新設された一六七三年以後、現在の字名嘉真となりました。平成二十一年に名嘉真区民の皆さんで先人が残した豊かな文化を継承発展するために仲間節歌碑を建立しています。

（文化財係 崎原）

【引用・参考文献】

- 恩納村教育委員会『恩納村博物館紀要第3号恩納村の遺跡』2006
- 津波高志ほか『沖縄国頭の村落（下）』1982
- 恩納村教育委員会『恩納村の歴史・文化』2000

プロコーチから直接指導



ONNA赤間ボールパークで春季キャンプを行っている三星ライオンズのコーチ陣から直接野球技術を指導してもらえる「三星ライオンズ野球教室」（TUK指定管理共同企業体主催）が2月20日同球場で行われ、村内の12チーム180名が参加しました。

ウォーミングアップ後、バッテリー陣と野手陣に分かれ、それぞれ落合英二投手コーチや種田仁打撃コーチらから直接指導を受けました。落合コーチは投球時に「まっすぐ踏み出すこと」や「体を大きく使って」などとアドバイスしていました。

参加した仲泊ヤンキースの島袋翔共君（小3）は種田コーチからのボールを「打てて楽しかった」と話し、また仲泊中学校野球部の山城真史君（中1）は「いつもの練習と違って、とても自分のためになりました」と話しました。

教室後、三星ライオンズから各チームにボールの寄贈があり、仲泊ヤンキースの嘉陽詩音主将は「皆様の指導で村内のチームは地区大会などで素晴らしい結果を出すことができます。これからも基本を大切に練習していきます」と感謝の意を伝えました。



泣く子も



投げる子も

▲勇敢に鬼に向い豆を投げる

節分の2月3日に、村内の保育所などで豆まきが行われました。山田保育所では、保育士が扮した鬼を追いかけて、園児らは大騒ぎとなりました。鬼を見た瞬間に大きな声をあげる子や泣き出す子がいれば、新聞紙を丸めた豆を鬼に投げつけ「鬼は外、福は内」と勇敢な姿を見せる子もいました。鬼を退治したあとは、保育士がお面を取り、先生だったことを告白し、泣いていた子もようやく落ち着きました。鬼退治後は、年の数だけ福豆を先生からもらい、みんなで仲良く食べ、元気な子になることを誓いました。

おむつ交換体験に真剣な表情の男子生徒



自分の体も 命も大切にしたい

思春期に「生命の尊さ」「子育てや親になること」などについて学び、母性や父性を養い、将来について考える思春期保健教室が今年度も村内5中学校で展開され、仲泊中でも2月8日に行われました。

約8キロの重りが入った妊娠シュミレーターを身につけ、妊婦を体感した生徒らは「重い」「動きにくい」「思うように歩けない」などと口にしました。

人形の赤ちゃんを使った抱っこなどの体験では、慣れない手つきに周囲が冷や冷やする場面もありました。

教室を終えて、生徒からは「生と性の大切さがわかって、もっと自分を大切にしなければだなーとおもった」、「お母さん、お父さんからもらった『大切な命』これからも大切にしていきたい」などの感想が聞かれました。

おらの話題

ペットボトル いかだが浮いたぞ

ペットボトルでいかだをつくり、海に浮かべようと、安富祖小5年の男子8名が、4ヶ月間かけて作ったいかだが1月20日、無事海で浮かび、8名は晴天の下、海で楽しみました。

総合学習の時間を活用したいかだづくりは昨年9月中旬から開始しました。刈り取った稲のわらで何か作れないかと模索していたところ、いかだの資料をみつけたメンバーから、ペットボトルでいかだをつくりたいとの提案があったのがきっかけでした。

安定した浮力と形を整えるため、四角い2リットルのペットボトルを材料にすることにしましたが、インフルエンザによる学級閉鎖や、普段なかなか飲まない形のボトルのため、予定の200本がなかなか集まらず、収集に2ヶ月かかってしまいました。その後、先生らの指導でベニヤや角材などを束ねたペットボトルの周囲にくくりつけ、いかだの形がようやく完成。漕ぐための櫂も自分たちで作りしました。

実際に海に浮かべることになったこの日、児童は二グループに分かれ4名ずついかだに乗りこみ、カヌーに乗った先生方が見守る中、学校裏手の浜辺から沖へと向かい、自分たちの手作りいかだでの航海を楽しみました。

海岸から50メートルほど離れたリーフまでいかだを漕いで楽しんだメンバーたちは口々に「楽しかった」と話



手づくりいかだを無事浮かしたメンバー



いかだで海を楽しんだ勇者たち

しました。長嶺紀政君・亀山響君は「ペットボトルを集めるのが一番大変だった」、東常斗君・新城綱都君は「大きな達成感があった」、当山幸希君・桑江凌汰君は「魚は釣れなかったが、とても楽しかった」、登川大君・又吉貢暉君は「なかなか進まなくて、漕ぐのが疲れたが、自分たちで作ったいかだだから、とても楽しかった」と話してくれました。

笑顔運ぶ旧正お節

村商工会女性部（當眞敏子部長）は、旧暦の大晦日の2月13日に、村内の80歳以上の一人暮らしのお年寄りについて、お節料理を届けました。16年目となる今年は2日ばかりで130食あまりを作りました。

當眞部長は「長生きのお年寄りが増えるのはいいこと。昨年より多い133個のお弁当を作るのは大変だったが、部員や地域の方が配達にいつた時に、お年寄りが喜んでもらえる姿を見ると疲れも吹き飛ば」と話しました。

この日當眞部長らは恩納区に住む90歳になる佐久本富さんにおせち料理を届、佐久本さんは「女性部からのお節は美味しくて毎年楽しみにしています」と話しました。

（村商工会）

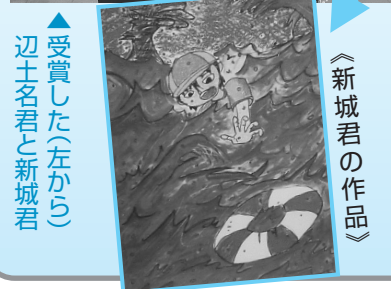


お節づくりに関わった女性部の皆さん



お節に笑顔を見せる佐久本さん(左)

水難事故防止 ポスター・標語で受賞



▲受賞した(左から) 辺土名君と新城君

《辺土名君の作品》
波たつ日 海の心は 荒れ模様

石川警察署は、県内での水難事故撲滅を推進するため、平成22年度水難事故防止ポスター・標語の募集を行ったところ、管内の小中学校からポスターの部28点、標語の部242点の応募があり、署内での審査の結果、それぞれ優秀賞3名が決まり、2月19日に署長表彰を行いました。

本村からもポスターの部で仲泊小6年の新城朝斗君の絵画が、標語の部で山田中3年の辺土名諒君の作品が選ばれました。

新城君は「波にさらわれて助けを求めているイメージで描きました。服がぬれている部分の表現が難しかったです」と話しました。

両作品は他の作品とともに、沖縄県警察の中央審査会に出展されます。

消費税・地方消費税(個人事業者)の確定申告と納税は正しくお早めに!

平成21年分の個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告は、平成22年3月31日(水)が申告・納付の期限となっています。

確定申告は、国税庁ホームページの「[確定申告書等作成コーナー](#)」をご利用ください。

「確定申告書等作成コーナー」は、画面の案内に従って、金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、消費税等や所得税の確定申告書などを作成できる便利なシステムです。

また、作成したデータを利用して、インターネットで自宅や事務所などから申告や納税ができる「[e-Tax\(国税電子申告・納税システム\)](#)」で送信することができますので、申告書の作成には、是非、「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

なお、税務署の申告相談会場は、特に所得税の確定申告期限(平成22年3月15日(月))間近になりますと大変混雑し、長時間お待ちいただくことがあります。申告書はできるだけ自分で作成しお早めに提出してください。申告書は郵便や信書便による送付でも提出することができます。

— 税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp —

大会期間中の熱中症予防に



美ら島沖縄総体2010のメインスポンサーであります、日本コカ・コーラ社を代表して、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社読谷営業所の仲村直光所長より、村実行委員会に対して「アクアバリュー」50ケースの贈呈式が2月8日役場1階ロビーでありました。

仲村所長は「8月に開催されます男子ソフトボール競技開催期間中や準備期間中の熱中症対策等に活用して下さい」と話し、石川哲夫村実行委員会副会長から「ありがたく使用させて頂きたい」と感謝の言葉が述べられました。(社会教育課)

平成22年度全国高等学校総合体育大会 「美ら島沖縄総体2010」

平成22年8月7日～10日

男子ソフトボール競技

赤間野球場・サブグラウンドにて開催!! 総体HPはこちら <http://www.ih2010.jp/>

全国高等学校総合体育大会恩納村実行委員会



あなたが変われば 地域がかわる



村役場での歓迎セレモニー

「取り戻そう健康おきなわ! あなたが変われば地域がかわる」をテーマに、第7回中部地区チャージングおきなわ21推進大会が2月18日に行われ、中部地区の関連団体が沖縄市泡瀬のレクドームを出発し、装飾した車両を走らせ、健康についてPRしました。

本村での歓迎セレモニーでは、村の健康づくりに貢献したとして同推進会議長賞を受賞した南恩納区の仲嶺美千留さんの表彰が行われました。仲嶺さんは、子育てと仕事の忙しい中、村の健康づくり通信教室への参加をきっかけに、自らの健康問題に気づき、無理なく自分にあった健康づくりを見つけて取り組み、生活改善につなげました。仲嶺さんの変化に驚いた方々が同教室へ参加し、PRIに大いに貢献されました。(保健)

早期発見早期予防で 防ぐ認知症

認知症の早期発見と、若い時期からの予防をテーマにした村高齢者福祉講演会が2月17日、村役場会議室で行われ、住民や関係者40名余りが参加しました。

講演会は宮里病院の古謝淳院長を招いて行いました。古謝院長は早期発見と早期治療の重要性を訴え、病気を防ぐことが予防の第一歩として、認知症の主な症状について解説しました。

参加者からは「優しい口調で、ビデオなども折り込みとてもわかりやすかった」、「隣近所の声かけが大きな役割を果たしていると感じた」、「若い時からの予防が大切だと感じたが、もっと多くの若い方が参加してくれたらよかったと思う」などの声が聞かれました。



参加者からも活発な意見交換があった

健脚で上位入賞に 貢献



24区の仲村選手から25区の金城選手へタスキが繋がった

第33回 沖縄一周市郡対抗駅伝競走大会が1月30、31の両日、那覇市の奥武山陸上競技場を発着点に本島をほぼ1周する28区間、295.7キロのコースで行われました。

本村からも国頭郡チームに四選手が選ばれ、それぞれの区間で健脚を披露し、国頭郡

チームの2位入賞に貢献しました。

出走した村選手はご覧のとおりです。

- * 仲村 廣都 選手 (3区で区間賞、24区で5位)
- * 比嘉 慎吾 選手 (7区で区間賞)
- * 水野 僚馬 選手 (6区で2位、26区で区間賞)
- * 金城 守 選手 (25区で5位)

塩屋地区 公営住宅建設工事 安全祈願祭

塩屋地区公営住宅建設工事の安全祈願祭が1月15日、塩屋の建設予定地で地元区民、工事関係者を集め行われました。

本団地は鉄筋コンクリート造三階建て、整備戸数十二世帯、敷地面積二千八百九十六㎡、延床面積千六百六十六㎡で沖縄北部特別振興対策事業(地域住宅交付金)として整備されます。

実施設計及び施工監理はシロ建築設計事務所、施工業者は(株)名城組・(株)山土木建設工事共同企業体、(株)石川電設工業、(株)原電設工業です。(建)



鉄入れをする関係者ら

奨学資金へのご寄附 ありがとうございます



恩納村奨学生のために
ご寄附いただき、
たいへんありがとうございます。

* * * * *

- 富山政勝様 100,000円【平成21年9月16日】
- 津嘉山文子様 100,000円【平成21年12月22日】
- 名城政治・アキ様 100,000円【平成22年1月29日】
- 仲村好正様 100,000円【平成22年2月17日】



- 八木千恵子様 300,000円【平成22年1月4日】

*八木千恵子さんからのメッセージです。

「息子（1名）と娘（2名）が無事卒業・就職し、奨学金の返済も完了しました。これから入学される後輩に少しでも役立てるよう、また、大変お世話になりました村への感謝を込めまして今回寄附することになりました。」



- 外間シズエ様 100,000円【平成21年10月19日】



- 読谷協同産業(株) 代表取締役 安田慶義様 100,000円【平成22年1月20日】

シリーズ 戸籍Q&A Vol.5

離婚後300日以内に誕生した子は前夫の子？

暴力をふるう前夫と家庭内別居の末、離婚届に2人がサインしたのは一昨年の秋でした。しかし、子どもの親権で折り合いがつかず、昨年1月7日によく役所に届けをだしました。その後、私は再婚し現夫との間に、離婚届けを出した日から265日経った昨年10月18日に男児を出産しました。出生を届けた際に、「離婚後300日以内に誕生した子は前夫の子」と推定する民法772条の規定を初めて知り、がく全としました。現夫を父として子の出生届をするにはどうしたらよいでしょうか。

A 離婚後の懐胎であることが証明できれば、現夫の子とできる。

婚姻の解消又は取消（いわゆる「離婚」）後300日以内に生まれた子のうち、医師の作成した「懐胎時期に関する証明書」を提出することにより、離婚後の懐胎であることが明らかな場合には、調停、裁判等の手続を経ることなく、民法第772条の推定が及ばないものとして、離婚時の夫を父としない出生の届出をすることができます。

問い合わせ

恩納村役場戸籍係 098-966-1205
* または *
那覇地方法務局名護支局 0980-52-2729

●今回は「戸籍の「男」「女」を「長男」「長女」に表記できるか？」について

住宅用火災警報器の申請はお早めに

消防法の改正により、平成23年6月1日から、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

恩納村では火災警報器が設置されていない高齢者世帯を対象に、**無料**で委託事業者が訪問し、確認後火災警報器の設置を受けようとする者は、村長へ設置申請書を提出（委託事業者が代行）し、その後順次、取り付けております。該当者は3月15日〔月〕までには申請して下さるようお願いいたします。なお、給付は1世帯につき1個です。

対象者は平成21年10月1日現在、恩納村在住で本村住民基本台帳に登録されている次の世帯です。

1. ひとり暮らしで65歳以上の世帯
2. 65歳以上の高齢者のみの世帯

問い合わせ先：福祉健康課 高齢者福祉係
電話 966-1207

金武地区消防本部からのお知らせです。
「ゆっくり 火の元 にらめっ子」を全国統一標語に春の火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の普及を計り、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする被害の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的としています。

火災はちょっとした油断から発生します。たばこの不始末、こんろの消し忘れ、ストーブや電気器具の誤った使い方など、火の使用には十分気をつけましょう。

平成22年 春季火災予防運動 「ゆっくり 火の元 にらめっ子」

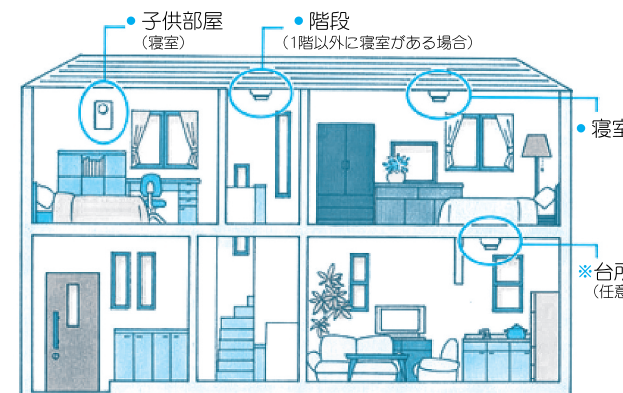
平成18年より、住宅用火災警報器の設置が義務化になりました、皆様の自宅にはもう取り付けましたか？
毎年住宅火災による死者が全国で千人を超えています。火災が発生した際に素早く避難できるように住宅用火災警報器を設置しましょう。まだ設置していない住宅には早めに住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器は寝室に設置することで、就寝中に火災が起きても素早く避難することができます。皆様のご協力をお願いします。

火災から大切な命や財産を守るために 住宅用火災警報器を設置しましょう。

新築住宅については、既に平成18年6月1日から設置が義務化されています。既存住宅については、金武地区消防衛生組合火災予防条例により、平成23年6月までの間で設置義務化の期日が決められており既存住宅は平成23年5月31日までに住宅用火災警報器を設置しなければなりません。

金武地区消防衛生組合火災予防条例により平成23年5月31日までに
すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けになります。



天井取付型



壁掛け型



*火災警報器は防災用品販売店、ホームセンター、家電販売店等で取り扱っています。



購入の際は左記のNSマーク（日本消防検定協会鑑定合格証）の付いている製品を選びましょう。

《問い合わせ先》【金武地区消防本部 予防課】968-2020・5166

交通事故に専門の相談員が応じます

近時、交通事故の態様が複雑化し、その解決にお困りの方も多くと存じます。弊協会ではこれらの方々のために全国に「自動車保険請求相談センター」を設置し、自動車損害賠償責任保険並びに任意自動車保険の請求について、**無料**でご相談をお受けしております。
*相談日：月曜～金曜（祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00 事前にご連絡下さい。
*弁護士相談日：毎月第3金曜日 13：00～16：00 予約制要面談
社団法人 日本損害保険協会沖縄支部
沖縄自動車保険請求相談センター
電話 868－8950 <http://www.sonpo.or.jp>

厚生労働省《緊急人材・就職支援基金》
4月開講 訓練生募集

受講料無料 生活支援給付金制度あり

○オフィス・エキスパート養成科
募集期間：2月8日～3月15日
講座期間：4月5日～6月30日
訓練時間：午前10時～午後5時
訓練実施場所：沖縄北部雇用能力開発総合センター
名護市字豊原224番地3号
※詳しい内容や申込方法は必ず下記（株）琉球ファクトリーまでお問合せください。
*問い合わせ：098－862－4122 基金訓練受付係

国家公務員採用試験のお知らせ

<大学卒業程度>
○国家公務員採用Ⅰ種試験
受付期間 *インターネット 4月1日(木)～4月3日(土)
*郵送又は持参 4月1日(木)～4月8日(木)
○国家公務員採用Ⅱ種試験
受付期間 *インターネット 4月10日(土)～4月14日(水)
*郵送又は持参 4月12日(月)～4月21日(水)
<高等学校卒業程度>
○国家公務員採用Ⅲ種試験
受付期間 6月22日(火)～6月29日(火)
☆受験資格等については、下記にお問い合わせください。
問い合わせ先：人事院沖縄事務所 調査課 試験担当
TEL (098)834－8400
*人事院ホームページもご参照ください。
「採用情報ナビ」<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

労働安全衛生法に基づく平成21年度3月・22年度4月講習会のご案内

講習会名	受講料	定員	日 時	会 場	備 考
アーク溶接 特別教育	会 員 ￥13,945 (テキスト代込) 非会員 ￥16,945 (テキスト代込)	40 名	学科 3/25(木) 9:00～17:00 3/26(金) 13:00～17:00 実技 3/27(土) 9:30～	学科 北部会館3F (名護市宇茂佐) 実技 名護商工高校 溶接実習室	アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務 ※申込書の裏面に10時間以上の実務証明が必要です。(初心者を除く)
職 長 ・ 安全衛生 責任者教育	会 員 ￥14,470 (テキスト代込) 非会員 ￥19,470 (テキスト代込)	60 名	4/27(火) 9:00～17:00 4/28(水) 9:00～17:00	北部会館3F (名護市宇茂佐)	建設業、製造業、電気行、ガス業、自動車整備業、機械修理業の業種において職務に就くこととなった職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者

※申込は先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。
※講習規定により遅刻、早退、欠席者は失格となりますのでご注意ください。
※顔写真2枚（縦3cm×2.4cmボラロイド、デジタルカメラ撮影不可）必要となりますのでお申込み時に提出して下さい。
※お支払頂いた受講料は、払いもどしできませんのでご了承下さい。

お 問 い 合 せ 先
・(社)沖縄県労働基準協会 北部支部
名護市宇茂佐1399-2(北部会館4F)
TEL 0980-54-4700

沖縄県地上デジタル放送受信者支援事業について

・沖縄県では、世帯全員が、市町村民税非課税措置を受けている世帯を対象に以下のような支援を行います。
①**地デジ機器の購入費用**(1世帯1回の申請)として**最大12,000円**を補助します。
・補助の対象となる商品は以下のものです。
【地デジ受信機】○テレビ ○録画機 ○チューナー
【ケーブルテレビ】○新規加入料 ○セットトップボックス ○デジタル契約変更手数料
【上記に付随する関連経費】○UHFアンテナ ○上記に係わる取付費、工事費
※単独では申請できません
※パソコン、カーナビ等、デジタル放送の視聴を主な目的としないものは支援の対象となりません。
・対象者は以下の支援対象条件をすべて満たした世帯のみとなります。
支援対象条件
1. 沖縄県在住世帯
2. 現在、**世帯全員が市町村民税非課税**の措置を受けている世帯
3. 平成21年12月1日以降に初めて対象機器を購入した世帯
4. 受信機等の購入や工事内容について、領収書等により内容、日付、金額が確認出来ること
5. 総務省が実施する地上デジタル放送受信機器購入等支援事業の支援を受けられない世帯であること

②**申請の仕方について**
申請までの流れ
デジタルテレビ等を購入 → 必要書類を用意する → 必要書類に記入 → 必要書類を貼り付ける → 書類を事務局へ郵送する
申請キットは各市町村役場 電器店(一部を除く)に用意しています。
申請キット(必要書類)
①地上デジタル放送受信者支援事業補助金交付申請書
②課税・住民票記載事項証明兼交付申請書
③委任状
④債権者登録申請書
⑤領収書(原本)または購入証明書
⑥保証書(写)
⑦家電リサイクル券排出者控え(写)又は小売業者控え(離島のみ)
■本件に関するお問い合わせ先
沖縄県地上デジタル放送受信者支援事業
お問い合わせ先：地デジ支援し隊事務局
沖縄県那覇市おもろまち4-2-23
電話：098-951-2700 平日9:00～17:00
事業主体：沖縄県

注意
この件で県や市町村の担当者から直接自宅を訪問したり、手数料を徴収する事は一切ありません。詐欺や悪徳商法には十分にご注意ください。

防災一口メモ

「週間地震概況」の発表を開始
～今年1月から「週間地震概況」を毎週金曜日に発表～

地震に関する情報については、地震発生後に震度3以上を観測した場合は震度速報や震源・震度に関する情報、また震度1以上を観測した場合は各地の震度に関する情報等を迅速に発表しています。
沖縄気象台では、沖縄地方の詳細な地震活動状況を月及び旬毎にまとめ、定期的に「管内地震活動図」として発表してきました。
今年からは、管内の地震活動状況をより早くお知らせするため、旬毎の発表に代えて、毎週金曜日に「週間地震概況」を発表することとしました。「週間地震概況」の発表日が祝祭日となる場合は、前週号にて発表日をお知らせします。
なお、月の地震活動図については、引き続き毎月の初めに発表します。
また、沖縄地方で震度4以上の地震を観測した場合や津波警報・注意報を発表した場合には、「地震解説資料」として、その都度発表します。
詳しい資料は沖縄気象台ホームページで閲覧できますので、防災活動に活用してください。
URL http://www.jma-net.go.jp/okinawa/menu/syokai/jisin/jisin_gaikyo.html

平成22年1月22日(No.3)
沖縄気象台
沖縄地方の週間地震概況
今期間(1月15日～1月21日)の震源を赤で表示
今期間の地震回数 314回
200km
28°N
26°N
24°N
22°N
120°E
122°E
124°E
126°E
128°E
130°E
132°E
M
7.0
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
UND
depth (km)
0
30
80
150
300
16日 12時41分 M3.3 震度:1
15日 20時08分 M5.6 震度:3
18日 06時23分 M4.3 震度:1
17日 02時49分 M4.5 震度:1
18日 03時54分 M4.5 震度:1
17日 07時04分 M4.7 震度:1
※灰色のシンボルは対象期間から6ヶ月前までの震源を表しています。
※沖縄地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。